

超臨界流体部会 幹事会議事録(案)

日時 平成 19 年 3 月 19 日(月) 12:00 ~ 12:50

場所 京都大学 吉田南キャンパス研 C 室

参加(敬称略) 栃木(日大)、生島 豊(産総研)、佐古(静大)、鈴木(産総研)、佐藤(東北大)、葭田(宇大)、大島(東大)、松田(東工大)、日秋(日大)、船造(中央大)、滝島(広大)、岩井(九大)、後藤(熊大)、猪股(東北大)、増田(産総研)、辻(日大)、陶(日大)、松井(株)BBステピア、内田(信大)

議事進行は栃木部会長による。18:00 ~ の第 12 回部会集会資料の内容について議論された。

報告事項

1. 平成 18 年度主催事業

標記の件のうち、第 11 回部会集会、第 5 回サマースクール、第 38 回秋季大会シンポジウム報告について、それぞれ栃木部会長、船造幹事、栃木部会長(田村代理)から参加人数、概容などが報告された。

2. 化学工学 <特集> 化学工学年鑑 2006

まとめ役生島幹事から、経過報告がなされ、関係者に対する協力のお礼が述べられた。

3. 「超臨界流体部会活動成果集 2006 年度版(ワーキンググループ活動報告書 No.5)」

佐古幹事から、進捗状況の説明があり、一部未入稿があるが、5 月末までに刊行したいとのこと

4. 共催・協賛事業

MTMS 2006, ISSF2006、AICHE の経過報告と協力に対するお礼が、日秋幹事、後藤幹事、猪股幹事から述べられた。

5. 会員移動

栃木部会長から現在の状況説明

6. 収支決算報告

栃木部会長から内容説明

審議事項

1. 超臨界流体部会平成 19 年・20 年役員

標記の件について以下の案が提示された。幹事会では、松田知子(東工大、反応 WG)を新幹事として追加して 22 名とし、部会集会で審議することになった。

部会長 佐古 猛(静岡大)

副部会長 (3 名:産官学)船造 俊孝(中央大)、生島 豊(産総研)、山田 和矢(東芝)

幹事(22名)

阿尻雅文(東北大)	乾 昭文(国土館)	岩井芳夫(九大)
内田博久(信州大)	大島義人(東大)	川崎慎一郎(産総研)
川尻 聡(竹中工務店)	児玉大輔(日大)	後藤敏晴(日立電線)
後藤元信(熊大)	佐藤善之(東北大)	陶 究(日大)
鈴木 明(産総研)	R.L.スミス(東北大)	滝島繁樹(広大)
田村和弘(金沢大)	辻 智也(日大)	平田洋介(東芝)
古屋 武(産総研)	松田知子(東工大)	葎田真昭(宇都宮大)
若山博昭(豊田中央研)		

WG(まとめ役)

- (1)基礎物性 岩井(九大)、辻(日大)、児玉(日大)、古屋(産総研)
- (2)分離・抽出 田村(金沢大)、後藤(熊大)、佐藤(東北大)、川尻(竹中工務店)
- (3)反応・物質変換 大島(東大)、葎田(宇都宮大)、平田(東芝)、後藤(日立電線)、松田(東工大)
- (4)材料製造 滝島(広大)、阿尻(東北大)、若山(豊田中研)、内田(信州大)、陶(日大)
- (5)単位操作 鈴木(産総研)、スミス(東北大)、乾(国土館)、川崎(産総研)

監事(2名) 栃木勝己(日大)、松井 茂(JBB ステビア)

HP 担当 東 秀憲(金沢大)

事務局(5名) 猪股 宏(東北大)
横山千昭(東北大)
辻 智也(日大)
岡島いづみ(静岡大)
鈴木章悟(リコー)

1. 平成 19 年度活動計画

標記の件として、化学工学会第 72 年会、第 6 回サマースクール担当者、化学工学会第 39 回秋季大会について、それぞれ栃木部会長、岩井幹事、滝島幹事から概容説明がなされた。

第6回サマースクールは7/30、31が第1候補日とした。出版計画として、「化学工学年鑑2007」、「新化学工学体系化」について、佐古幹事、船造幹事から説明があった。行事として講演会「超臨界流体技術の最近の動向」については集客にも十分配慮した内容とすることとし、化学工学の特集に連動することも提案された。さらに、猪股幹事より化学工学便覧の改訂予定が説明され、協力を要請した。

3. その他

猪股幹事よりPPEPPD2007の状況説明。

4. 平成19年度部会収支予算案

栃木部会長から、本年度と次年度の変更点が説明された。部会としての自立、アルバイト代の計上について栃木部会長から、受託調査費の受入れと各WGへの協力を佐古新部会長から説明がなされた。

以上、栃木部会長閉会を宣言。

超臨界流体部会 第12回部会集会議事録(案)

日時 平成19年3月19日(月) 18:00~20:00

場所 京都ガーデンパレス (京都市)

参加 52名 内学生8名

栃木部会長、開会を宣言。部会任期中の部会経過を説明し、これまでの会員協力について謝辞。以下の部会集会の議事進行は辻による。

報告事項

1. 平成18年度主催事業

標記の件のうち、第11回部会集会、第5回サマースクール、第38回秋季大会シンポジウム報告について、それぞれ辻幹事、船造幹事、葭田幹事から参加人数、概容などが報告された。第38回秋季大会シンポジウム報告では古屋幹事の担当による学生賞についても今後継続することにした。

2. 化学工学 <特集> 化学工学年鑑 2006

幹事会での標記事項にたいする経過報告がなされ、関係者に対する協力のお礼が述べられた。

3. 「超臨界流体部会活動成果集 2006年度版(ワーキンググループ活動報告書 No.5)」

佐古幹事から、進捗状況の説明があり、一部未入稿があるが、5月末までに刊行することのこと。

4. 共催・協賛事業

MTMS 2006,ISSF2006、AICHEの経過報告と協力に対するお礼が、日秋幹事、後藤幹事、猪股幹事から述べられた。

5. 会員移動

辻から現在の状況説明。新入会員のうち、中川会員(松下電工)を紹介。中川会員が自己紹介。

6. 収支決算報告

辻から内容説明、松井監事が確認した旨を報告。審議の結果、承認。

審議事項

1. 超臨界流体部会平成19年・20年役員

部会長より標記の件について以下案が提示された。幹事会の経過を説明し、松田知子(東工大、反応WG)を新幹事として追加したいとの旨。審議の結果、承認。

部会長 佐古 猛(静岡大)

副部会長 (3名:産官学)船造 俊孝(中央大)、生島 豊(産総研)、山田 和矢(東芝)

幹事(22名)

阿尻雅文(東北大)	乾 昭文(国土館)	岩井芳夫(九大)
内田博久(信州大)	大島義人(東大)	川崎慎一郎(産総研)
川尻 聡(竹中工務店)	児玉大輔(日大)	後藤敏晴(日立電線)
後藤元信(熊大)	佐藤善之(東北大)	陶 究(日大)
鈴木 明(産総研)	R.L.スミス(東北大)	滝島繁樹(広大)
田村和弘(金沢大)	辻 智也(日大)	平田洋介(東芝)
古屋 武(産総研)	松田知子(東工大)	葎田真昭(宇都宮大)
若山博昭(豊田中央研)		

WG(まとめ役)

- (1)基礎物性 岩井(九大)、辻(日大)、児玉(日大)、古屋(産総研)
- (2)分離・抽出 田村(金沢大)、後藤(熊大)、佐藤(東北大)、川尻(竹中工務店)
- (3)反応・物質変換 大島(東大)、葎田(宇都宮大)、平田(東芝)、後藤(日立電線)、松田(東工大)
- (4)材料製造 滝島(広大)、阿尻(東北大)、若山(豊田中研)、内田(信州大)、陶(日大)
- (5)単位操作 鈴木(産総研)、スミス(東北大)、乾(国土館)、川崎(産総研)

監事(2名) 栃木勝己(日大)、松井 茂(JBB ステビア)

HP 担当 東 秀憲(金沢大)

事務局(名) 猪股 宏(東北大)
横山千昭(東北大)
辻 智也(日大)
岡島いづみ(静岡大)
鈴木章悟(リコー)

2. 平成 19 年度活動計画

標記の件として、化学工学会第 72 年会、第 6 回サマースクール担当者、化学工学会第 39 回秋季大会について、それぞれ辻、岩井幹事、滝島幹事から概容説明がなされた。

第6回サマースクールは7/30、31が第1候補日とした。出版計画として、「化学工学年鑑2007」、「新化学工学体系化」について、佐古幹事、船造幹事から説明があった。行事として講演会「超臨界流体技術の最近の動向」については集客にも十分配慮した内容とすることとし、化学工学の特集に連動することも提案された。

3. その他

猪股幹事よりPPEPPD2007の状況説明。

4. 平成 19 年度部会収支

栃木部会長から、本年度と次年度の変更点が説明された。部会としての自立、アルバイト代の計上について栃木部会長から、受託調査費の受入れと各WGへの協力を佐古新部会長から説明がなされた。部会員から異議なし。承認。

審議終了。懇親会。

懇親会終了後、新部会長佐古が挨拶。

辻、新幹事会の案内をして、閉会。